

【No. 1】 基本的な業態分類に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 小売業の分類のうち、店舗のあるなしによる分類がある
2. 販売方法の違いによる分類は、対面販売とセルフサービス販売がある
3. 人員構成の違いによる分類は、正社員比率、年齢別比率、男女比率等で分類される
4. 経営方法の違いによって店舗は単独店、チェーン店などの分類がある

答. 3

【No. 2】 業種・業態に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 店でどんな商品を売っているかという事業内容を日本標準産業分類に従って分類するのが業種分類である
2. 取扱商品の内容により小売業を分類するのが業種である
3. 小売業の営業形態に着目するのが業態分類である
4. 百貨店は、品揃えについて総合商品を扱う小売業で、ナショナルブランドをセルフサービス販売方式で大量に売る営業形態をいう

〔解説〕百貨店は、品揃えについて総合商品を扱う小売業で、ワンストップ・ショッピング機能を持つ小売業に含まれ、専門的商品を対面販売で丁寧に売る営業形態をとる。

答. 4

【No. 3】 業種・業態に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商業統計によると、小売業の店舗数は年々減少しており、欧米の先進国と比べても人口当たりの店舗数は少ない
2. 百貨店とGMSはどちらも総合商品を扱う小売業、つまりワンストップショッピング機能をもつ小売業に含まれる
3. 小売業の形態の分類方法としては、店舗の有無による分類、販売方法による分類、経営方法の違いによる分類がある
4. 同一名の店舗数を11店以上展開する小売店をチェーンストアと呼ぶ

〔解説〕日本は比較すると最も多い

答. 1

〔No. 4〕業態店のコンセプトの組み合わせに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 定価販売・品揃えが浅い ----- 専門店
2. 定価販売・品揃え広い ----- 百貨店
3. 低価格・品揃えが広い ----- ディスカウント、ハイパーマーケット
4. 低価格・品揃えが深い ----- カテゴリーキラー、ドラッグストア

〔解説〕定価販売・品揃えが深い・・・専門店

答. 1

〔No. 5〕業態に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 居酒屋チェーンが、介護施設の経営や高齢者向けの宅配給食を始めている
2. 商店街は小売業、サービス業等を営む者の店舗が主体となって地域的集積を形成し、何らかの組織を有するものと定義され、商圈規模から近隣型、地域型、広域型の3つに分類される
3. チェーン店には、同一資本が展開するレギュラーチェーンと、本部企業と加盟店との契約関係で成り立つフランチャイズチェーンなどがある
4. 訪問介護や医師看護師の往診等を含めた地域高齢者支援システムを経営のひとつの柱にしている薬局チェーンがある

〔解説〕商店街は小売業、サービス業等を営む者の店舗が主体となって地域的集積を形成し、何らかの組織を有するものと定義され、商圈規模から近隣型、地域型、広域型超広域型の4つに分類される。

答. 2

【No. 6】業種店と業態店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 総合食品スーパーは、食品が中心なので典型的な業種店である
2. パンや雑誌などを扱うコンビニエンスストアは、業態店である
3. ホームセンターは業態店である
4. 様々な人が利用する酒店は業種店である

答. 1

【No. 7】業態と法規制に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 調剤薬局は規定の調剤室を備え、薬剤師が常勤して、調剤し販売しなければならない
2. 酒類を深夜まで供し、女性がボックス席で接待する飲食店は、風俗営業法に基づく警察署の許可を得なければならない
3. 飲食店で来店客に料理を提供する場合、規定設備や調理師等の必要要件を備えて、保健所に許可を申請する必要がある
4. 店前の歩道上での店頭路上販売をする場合、管轄の消防署へ届け出をしなければならない

〔解説〕道路使用許可は所轄の警察署に提出するが、期間限定で特別な場合に限る。

答. 4

【No. 8】近年の百貨店の動向に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 郊外型ショッピングセンター内への核店舗として出店していた百貨店の多くが撤退している
2. ショッピングセンターへの出店に関しては、百貨店のブランド力の活かせる食品業態などに徹した業態での出店がみられる
3. 既存百貨店は、百貨店業態の強化を進めており、ショッピングセンター的なテナント導入を行うところはない
4. 新店は大型都市の駅ビルへの大型百貨店の出店は見られるが、百貨店の新店出店はほとんど無くなっている

業態計画

〔解説〕都市郊外部などの百貨店は、積極的にテナント導入を図り、ショッピングセンター的な運営を行うところが増加している。

答. 3

【No.9】スーパーマーケットの取り組みに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 食の安心安全志向に対応して、生産地表示やトレーサビリティの提供に加え、放射能物質の調査なども行っている
2. グルメ志向をふまえて、作りたて惣菜等の強化を行っているが、食品衛生の視点から、店舗内での調理は行わない方向が強くなっている
3. 地元生産者などの産直野菜などを取り入れ、こだわりの高い品揃えをする店舗も増えている
4. 家族構成員の減少、単身者の増加、高齢化の進展などで、惣菜等の小口化、野菜の1個売り、肉などの量り売りなどを取り入れる店舗が増えている

答. 2

【No.10】スーパーマーケット業態に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 商品グレードや価格帯が高い高級スーパーマーケットは、人口が多く、高い所得層の多い大型都市を中心に展開する
2. 商品グレードや価格帯が中位のスーパーマーケットは、その地方にしかない独自の企業が圧倒的に強く、全国チェーンは参入できない
3. 低価格帯を売りにしたスーパーマーケットは、比較的郊外住宅街を中心に开店しており、他のスーパーマーケットと棲み分けている
4. 都市部を中心に、コンビニエンスストア的な業態に近い小型のスーパーマーケットを展開するところが出てきている

答. 2

【No.11】テイクアウトショップの基本的なオペレーションに関する次の記述のうち、最も不

適当なものはどれか。

1. 店内で食べるためのイス席は必要としない
2. ファサードの入り口は落ち着きを持たせるために狭くする必要がある
3. 接客は、注文を受けてから商品を渡すまでをいかにスムーズに行えるかが大切である
4. 厨房では、美味しく食べてもらうために、作り置きをしない方が良い

答. 2

【No.12】 アパレルショップの業態や経営手法などに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ビームス、ZARAなどは、セレクトショップと言われる業態の代表的な店舗である
2. ユニクロ、GAPなどはSPAとよばれる経営手法をとっている
3. H&M、フォーエバー21などはファストファッションといわれる業態である
4. ワールド、レナウンなどは、メーカーであり、卸売りを中心とした企業で、アパレルショップも自社で展開する

答. 1

【No.13】 ファミリーレストラン（FR）に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. インストア型FRとは、GMSやSCの中に出店しているFRのことを指す
2. 全般的に、これまでのような『システム化・効率化・合理化』の追求の時代から、お客様のニーズにあわせてスタイルを変容させていく時代へと変化してきている
3. フリースタンディング型のFRにも、専門業種店が増えている
4. オフィスビル、マンション、テナントビル等、主に都市部に出店しているFRはボックスイン型FRとよばれている

答. 4

【No.14】 ロジスティクスの活動に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 顧客サービス
2. 需要予測
3. 生産と在庫管理
4. 交通と輸送

答. 3

【No.15】 小売商圈に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか

1. 食料品は一般に商圈が狭い最寄品に分類される
2. 買回品には、衣料品や身回品等の他に、家具やスポーツなどの趣味関連商品があてはまる
3. 小売商圈とは、小売店舗周辺の消費者が、長期的にその店に買い物に来る範囲のことをいう
4. 消費者がある特定の商業集積を選ぶ確立をモデル化したものをハブ・モデルという

答. 3